

授 業 科目名	セミナーⅡ 教養演習（中国語）	※選 択	開講年次	2	単位数	2
科目区分	基本科目					
サブ タイトル	中国語をもっと強くなろう		担当者	加藤 阿幸		
講義概要	<p>【概要】</p> <p>中国語は、授業中で得られる基礎知識ではほんのわずかしかなかったりありません。もっと発音の仕組みを本格的に習得したい、あるいは、中国語の文法や会話をもっと身に付けたい、実社会で使える中国語をマスターしたい学生のために、本講座が開設されるのである。</p> <p>【到達目標】</p> <p>中国語検定試験をチャレンジできるようにしたい。</p>					
履修条件	中国語を最低でも一回分の単位を取得した学生					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】</p> <p>特になし</p> <p>【参考書】</p> <p>今まで使ってきた中国語の教科書</p>					
授業内容	<p>前期は日本人の苦手とする有気音、無気音や巻き舌音などの確認、特訓、及び基本文法や基本語彙の習得を中心に授業を展開する。</p> <p>後期は中国語検定試験に向けて、過去問やその練習問題に取り組みます。</p> <p>期末ごとに習得度を確認するため試験を実施する。</p>					
評価方法	出席率とテストの成績による総合評価					
評価基準	<p>上記授業の単元の内容について、決められた課題や宿題とも 90%以上提出し、平常試験、期末試験とも 80 点以上あり、出席も 12 回以上ある学生には「A」を与える。上記提出物の提出率が 70%以上、諸試験とも 80 点以下、70 点以上、出席 12 回以上の学生には「B」を与える。上記提出物の提出率が 60%以上、諸試験とも 70 点以下、60 点以上あり、出席 12 回以上の学生には「C」を与える。上記指定したことに満たさない学生には、その評価を「D」または「E」とする。</p>					
その他	※Eカリキュラムの学生は選択必修科目					